

# 落合貴之にインタビュー

## Q: 好きな言葉は

A: 「命もいらず、名もいらず、官位も金もいらぬ人は、始末に困るものなり。この始末に困る人ならでは、艱難(かんなん)を共にして国家の大業は成し得ぬものなり。」西郷隆盛 昨年の大河ドラマは「西郷どん」でした。西郷隆盛の生き方はこの言葉に表れていると思います。自分のためではなく、心から世の中のために全て尽くす人でなければ偉業を成し遂げることはできない。私は20代の頃、この言葉に出会い、しばしば、この言葉を書いています。



## Q: ご家族は

A: 妻と3歳と2歳の息子の4人で区内の賃貸マンションで暮らしています。妻は、初めての選挙の際から手伝ってくれていて、その選挙で私が落選した後に結婚しました。妻が働き、私が扶養家族。私は、掃除や洗濯など、半分主夫をしながら、アルバイトもしつつ、政治活動を続け、その後国会議員に当選。生活のために国会議員の地位にしがみつこうようになってはいけないと、今でも、妻は家計のため会社員として働き続けています。息子達は、近所の保育園に通い、地元の方々や私の親類に遊んでもらっています。

## Q: 趣味は

A: よく聞かれる質問ですが、まだまだ仕事が軌道に乗っていないので、趣味に使える時間はありません。ほぼ365日、朝から晩まで外に出ているので、子供との時間もあまりないため、家にいる際は、なるべく家族に料理を作るようにしています。凝った豪勢なものではなく、朝食だったら、野菜スープとベーコンエッグや、中華粥。お昼や夕食だったら、煮物、うどん、ナポリタンなど。普段、地元の個人商店をまわるが多いので、その際に、旬のお手頃な食材を買っています。

## Q: これからの若者へ

A: かつて産業革命により、体力勝負から、頭脳で勝負する時代に変わってきましたが、これからは人工知能AIの時代。頭脳も機械が担う時代がやってきます。それでは、人間にしかできないものは何なのか。それは、意志や共感や励ましなど、心の部分ではないでしょうか。豊かな心を持った人材が求められる時代がやってくると思います。これからは、体力と頭脳だけでなく、感性や優しさ、そして心の強さを、是非磨いていくべきだと思います。